

令和5年度  
事業実施報告書

新潟市南区社会福祉協議会

## 新潟市南区社会福祉協議会事業報告

### 【概 要】

3年にわたる新型コロナウィルス感染症が5類へ移行する中、南区社会福祉協議会ではコロナ禍で途切れかけた活動が再び活力あふれるものになるよう、地域住民の皆様や関係機関とともに創意工夫を凝らし、地域福祉活動を行ってきました。

また、コロナ禍により生活に困窮した世帯に対し支援して来た生活福祉資金特例貸付の受付は終了しましたが、依然として困窮状態にある世帯も多いことから、世帯の経済的負担軽減の一助として、日用品や食料品等の支援を通じた相談支援を引き続き実施しました。

令和3年度からの6ヵ年計画である「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画（南区地域福祉アクションプラン）」については、各地区においてコミュニティ協議会や関係団体の皆様と一緒に、地域の福祉課題解決につながる活動を検討し推進しました。

この他には、福祉教育としてひきこもりの方々を理解し、温かく支える地域にするための事業を行ったほか、ひきこもりに関する連絡会や家族の居場所、当事者の居場所の定例開催など積極的に地域福祉の推進に取り組んできました。

また、第1層支え合いのしくみづくりにおいては、各地域をコーディネートする2層の支え合いのしくみづくり推進員と協力しながら地域づくりにあたり、年度中に3つの地域で生活支援サービスが立ち上りました。

事業の実施状況について次のとおり報告します。

## 【事業実施状況】

### 1. 区社協地域福祉推進活動事業（市社協基本目標 1：孤立を見逃さない地域づくり）

#### （1）地区社協活動交付金事業

地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に事業費助成を行ったほか、地区社協がより活発に活動できるよう情報交換会を行うなど、様々な支援を行いました。

#### ○コミ協会長・地区社協会長・地域生活センター職員合同会議

開催日	会 場	協議内容
令和 5 年 8 月 9 日（火）	割烹 月映	<ul style="list-style-type: none"><li>・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について</li><li>・令和 5 年度地区社会福祉協議会交付金について</li><li>・令和 5 年度地区社会福祉協議会活動推進事業について</li><li>・南区社会福祉協議会業務依頼について</li><li>・第 15 回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について</li><li>・地区社協活動事業実施報告（新飯田地区・大郷地区）</li><li>・地区社協活動に関する意見交換会</li></ul>

#### ○コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

#### （2）地域ふれあい助成事業

地域の自治会単位での高齢者等見守り活動に対し、事業費助成を行いました。

	R5（件）	R4（件）	R3（件）
取り組み件数	1	3	2

#### （3）地域福祉活動計画推進事業

第 3 期南区地域福祉アクションプラン（令和 3 年度～8 年度までの 6 年間）の計画推進のため、行政と連携し計画の進捗管理のための推進委員会を開催し、目標達成のための活動事業について検討しました。

また地区別計画については、年度初めと年度の終盤に地域で推進会議を開催、目標達成に向けた地域活動を検討し評価検証する仕組みをつくりました。

回	開催日・会場	主な内容
1	令和 5 年 8 月 2 日（水） 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"><li>・南区地域福祉アクションプラン分野別計画における令和 5 年度の取り組みについて</li><li>・同プラン地区別計画の令和 5 年度の推進内容について</li><li>他</li></ul>
2	令和 6 年 3 月 4 日（月） 白根地域生活センター 視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"><li>・南区地域福祉アクションプラン分野別計画の令和 5 年度の取り組みと評価について</li><li>・同プラン地区別計画の取り組みと評価について</li><li>他</li></ul>
3	（地区推進会議） ①令和 5 年 6～7 月	①令和 5 年度のアクションプランの取り組みに関する計画打合せ会議（12 地区で開催）

②令和5年12月～令和6年2月	②令和5年度のアクションプランの取り組みに関する評価会議(12地区で開催)
-----------------	---------------------------------------

#### (4) 地域包括ケア推進事業（1層）：受託事業

地域コミュニティ協議会や自治会・町内会、地域の茶の間等で支え合いのしくみづくりや地域での見守り、助け合い・支え合いの活動の立ち上げに向けた啓発を第2層圏域の支え合いのしくみづくり推進員と協力して行いました。また「共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム」では、南区内の活動を発表し、住民の意識啓発に努めました。

定期的に開催するSC連絡会では、年度当初に各圏域の年間計画を確認し合い、それぞれの圏域の活動を連携・協力し合いながら進められるよう支援しました。また、地域包括支援センターとの圏域での情報交換では、地域の課題や活動を中心に情報を共有しました。

南区助け合い「お互いさま・新潟」(通称：南区お互いさま)については、南区の助け合い活動のモデルとして展開してきましたが、令和5年度に入り南区内の生活支援サービス団体が5団体に増えたこともあり、当初の役割を終え発展的な解散に向け進めていくことを、

「南区お互いさま・新潟」の集いにて登録いただいている方へ説明を行いました。

南区第1層支え合いのしくみづくり会議では、南区の3つの課題「高齢者の参加・活躍、介護予防の場づくり」「担い手の育成」「認知症について地域での理解促進」について、第1層構成員が我が事として考えた意見・アイデアを出し合い、課題解決に向けたアプローチシートを作成しました。次年度は、構成員とともにアイディアを具現化していきます。

#### ○南区第1層支え合いのしくみづくり会議開催状況

	開催日	主な内容
第13回	7月14日(金)	(1) 南区第1層支え合いのしくみづくり会議構成員の交代について (2) 令和4年度南区第1層支え合いのしくみづくり会議の振り返り (3) 南区の3つの課題に関するアイデア出しグループワーク ① 高齢者の参加・活躍、介護予防の場づくり ② 担い手の育成・発掘 ③ 認知症について地域での理解の促進
第14回	11月24日(金)	(1) 第1回支え合いのしくみづくり会議の振り返り ① 南区3つの課題へのアプローチ方法について
第15回	2月5日(月)	(1) 令和5年度 南区第2層生活支援体制整備事業について (2) 第2回支え合いのしくみづくり会議の振り返り (3) 前回の会議後に取り組んでみたこと、今後取り組む予定について共有 (4) 令和5年度 南区第1層生活支援体制整備事業について

#### ○南区第2層支え合いのしくみづくり会議開催状況

圏域	開催日	会場
臼井・白根北	令和6年3月6日(水)	大通地区生活センター
白南・白根第一	令和6年3月28日(木)	南区役所
味方	令和5年4月13日(木)	味方出張所

	令和5年5月19日（金）	
	令和5年6月27日（水）	
	令和5年8月22日（火）	
	令和5年10月11日（水）	
	令和5年12月7日（木）	
	令和6年2月20日（火）	
月潟	令和5年9月25日（月）	月潟出張所
	令和6年1月26日（金）	

### ○南区支え合いのしくみづくりフォーラムの開催

開催日時	会場	内 容
令和5年12月10 日（日）	白根学習館 ラスペックホール	※「共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム」と題し、地域福祉推進フォーラムと合同開催 17ページに詳細を記載しております。

### ○南区助け合い「お互いさま・新潟」（通称：南区おたがいさま）の活動

#### 【住民相互の助け合い活動の実施・相談の受付】

南区助け合い「お互いさま・新潟」については、助け合い活動のモデルとしてスタートし5年が経過し、各地区で生活支援事業の立ち上げが進んだことから、ご相談をいただいた依頼を各地区的活動を紹介することとし、当初の役割を終えたということで発展的な解散の方向で進めることとし、そのことについて、周知するために南区助け合い「お互いさま・新潟」の集いを開催しました。

#### ○相談内訳（R5.4.1～R6.3.31）

圏 域	臼井 白根北	白南 白根第一	味方・月 潟	事業所 その他	計
問い合わせ件数	0	10	1	2	13
問い合わせ内容	• 買い物代行 1件      • 除雪 2件 • ゴミ出し 2件      • 通院付添い 1件 • 草取り 3件      • 携帯買換え 1件 • 枝切り 2件      • 災害対応（片づけ） 1件				

## 2. 区社協見守り・生活支援事業（市社協基本目標2：ネットワークを活かした一人ひとりの困りごとの解決）

### （1）おせち料理等宅配事業

各地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への配食サービス、友愛訪問活動、及びおせち料理宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食サービス対象者数	安心箱等訪問回数	おせち配食世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員、自治会保育園保護者会、地域代表	—	15	12
茨曾根地区社協	地区社協、民生委員、自治会コミ協	117 (配食)	39	17
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	43 (配食)	172	38
小林地区社協	地区社協、民生委員、食推委員 コミ協	17 (昼食会)	155	25
臼井地区社協	地区社協、民生委員	—	120	33
大郷地区社協	地区社協、民生委員	70	229	27
鷺巣地区社協	地区社協、民生委員、自治会	118 (配食)	17	13
根岸地区社協	地区社協、民生委員	—	77	40
大通地区社協	地区社協、民生委員	—	296	48
白根地区社協	地区社協、民生委員	426 (配食)	—	221
味方地区社協	地区社協、民生委員	—	35	42
月潟地区社協	地区社協、民生委員	—	80	50
合 計		791人 (638人)	1,235人 (863人)	566食 (551食)

※（ ）内は前年度数

## (2) 子育て支援事業

各関係機関や団体と連携し、子育て中の親子が気兼ねなく集まることができる子育てサロンや子育て支援団体への相談支援や助成支援を行いました。また、子育て支援団体同士のつながりづくりの場や今後の活動の一助となることを目的としてネットワーク会議を開催しました。

### ○子育てサロン助成金事業

助成団体数	地区	助成額
1	新飯田	20,000 円

### ○南区子育て支援団体ネットワーク会議

開催日時	会場	内 容
令和5年 9月14日(木)	サルナート吉運堂 カトレア	・講義「こども基本法とこどもをとりまく環境について」 講師：新潟県立大学人間生活学部子ども学科 教授 小池由佳氏 ・情報交換

## (3) 緊急情報キット配付事業

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治会・町内会長の協力のもと配布しました。

### <令和5年度配布内訳>

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計 (本)
新飯田	1	0	0	0	0	0	1
茨曽根	1	1	1	0	0	0	3
庄瀬	3	0	1	0	0	0	4
小林	0	2	0	0	0	1	3
臼井	3	7	0	0	0	0	10
大郷	0	0	0	0	0	0	0
鷺巣	1	0	0	0	0	0	1
根岸	1	0	0	0	0	0	1
大通	7	10	1	0	0	0	18
白根	4	1	0	0	0	0	5
味方	0	0	0	0	0	2	2
月潟	3	1	0	0	0	0	4
施設	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	22	3	0	0	3	52

\*令和5年度末までの総配布数 1,149 本(うち 199 本有償)

#### (4) サロン助成・支援事業

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会等の小地域が主体となり仲間づくりや多世代交流事業を実施する「地域の茶の間・ふれあいきいきサロン」の立ち上げ支援や助成を行いました。

新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、各地域で地域の茶の間が活発に開催されました。

また、南区内の地域の茶の間・ふれあいきいきサロン、子育てサロンの開催状況の把握に努め、南区社協だよりに実施団体の情報を掲載しました。

なお、地域の茶の間・ふれあいきいきサロン助成団体に対して、相談会を開催し、報告書類や次年度の助成申請書類の作成について個別に対応し支援を行いました。

#### ○地域の茶の間・ふれあいきいきサロンの実績

地区名	サロン数					地区名	サロン数					
	高齢者						高齢者					
	市助成			助成無			市助成			助成無		
	月1回タイプ	月2回タイプ	週1回タイプ	不定期開催等	季節開催等		月1回タイプ	月2回タイプ	週1回タイプ	不定期開催等	季節開催等	
新飯田	1	0	0	3	鷺巣	1	0	0	0	2	0	
茨曽根	3	0	0	3	根岸	1	0	0	0	3	0	
庄瀬	1	0	1	1	大通	5	0	0	0	2	0	
小林	3	0	1	2	白根	11	0	1	1	1	0	
臼井	2	0	0	1	味方	4	0	0	0	8	0	
大郷	1	0	0	2	月潟	3	0	1	1	1	0	
(市助成金活用団体) 合計 40 か所					合計	36	0	4	29	0	0	
月1タイプ (30,000円) / 36 か所					合計	69 (65)					0	
週1タイプ (240,000円) / 4 か所											0	

※ ( ) 内は前年度数

#### ○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・会場	内容・参加者
南区ボランティア・ 地域の茶の間・サロ ン交流会 参加者 52 名	令和5年9月27日(水)	・健康講座 「低栄養予防でもっと元気に！」 「低栄養を予防する かんたんレンチン料理」 ・ボランティア団体とサロン代表者の活動発表 ・体しゃつきり体操（南区社協バージョン）

地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン 助成事業報告及び申請書類作成相談会 相談対応 34 件	令和 6 年 3 月 22 日 (金)、 27 日 (水) 、28 日 (木)	・令和 5 年度事業実績報告書、収支決算書、令和 6 年度事業申請書、ボランティア行事用保険の加入についての個別相談会
--	--	---

### (5) コミュニティソーシャルワーク推進事業

様々な理由から支援が必要な世帯が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と連携しながら、継続的に関わりをもち、個別の支援から見えた地域の課題については、アンケート調査を実施し、調査結果をもとに関係機関と今後必要となる支援について検討を行いました。

物価高騰等による生活困窮者世帯への生活支援事業として、ひとり親世帯や生活困窮世帯へ食料相談支援を実施しました。賛同団体や企業、ボランティアより協力をいただき開催し、相談支援につながる機会となりました。

また、地域福祉ネットワーク会議では、地域と事業所のつながりづくりをテーマに開催し、互いの活動や困りごとについて理解し、協力できることに対してのマッチングの機会としました。

取り組みは次のとおりです。

	開催日	主な内容
1	毎月第 2 土曜日 (他事業の関係で 12 月 と 2 月のみ、第 3 土曜)	ひきこもりに悩んでいる家族の居場所 ・毎月：交流会 ・6 月：就労移行支援ウェルビー説明会 ・3 月：講師に長岡崇徳大学 看護学部看護学科 斎藤まさ子教授を 招き、家族と意見交換を実施
2	毎月第 2 土曜日 (他事業の関係で 12 月 と 2 月のみ、第 3 土曜)	ひきこもり当事者の居場所 (rakkura らっくら) ボードゲームや参加者同士の交流など、自由にゆったりと過ごして いただく居場所として開催。 判子押し等軽作業のボランティア活動も実施。
3	令和 5 年 12 月 19 日 (火)	ひきこもり支援連絡会 (新潟市ひきこもり相談支援センター共催) ・参加機関 (ひきこもり支援センター、こころの健康センター、新潟地域若者 サポートステーション、新潟市パーソナルサポートセンター、新潟 市障がい者基幹相談支援センター秋葉、区内地域包括支援センタ ー、南区健康福祉課) ・内容 区社協のひきこもり支援事業報告、事例検討会
4	令和 5 年 7 月 21 日 (金) 7 月 22 日 (土)	ひとり親世帯へ食料相談支援 (協力：区健康福祉課児童福祉係、食料支援賛同団体・企業)

5	令和5年12月11日 (月)～13日(水)	生活困窮世帯へ食料相談支援 (協力：食料支援賛同団体・企業)
6	【第1回】 令和5年6月13日(火) 【第2回】 令和6年2月22日(木)	<p>地域福祉ネットワーク会議</p> <p>【第1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度開催報告</li> <li>助けてほしい！これできる！地域課題をみんなで検討しよう マッチング、名刺交換・活動紹介、意見交換</li> </ul> <p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域×事業所コラボ実践報告 報告者：社会福祉法人ごせん福祉会　にいだの里</li> <li>オンライン講演「これからの中高年層と地域の連携を考える」 講師：茨城県結城郡　社会福祉法人紬会　染野ユミ氏</li> <li>グループワーク</li> </ul>
7	毎月開催	<p>生活困窮者情報共有会</p> <p>C SWが関わる困難事例をもとに、区の保護係と新潟市パーソナルサポートセンターともに生活困窮者情報共有会を行い、継続的な支援を行えるよう連携していく必要性を再確認しました。そのなかで、緊急性の高い事例について検討するパーソナルサポートセンター主催の支援会議に参加しました。</p>
8	<p>【調査検討会議】 令和5年10月25日(水) 令和6年2月16日(金)</p> <p>【アンケート実施期間】 令和5年11月～12月</p>	<p>【孤立世帯実態把握アンケート調査検討会議】</p> <p>区内の40～60代で地域や社会から孤立している世帯の実態を把握するための調査を実施するため、調査企画について検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協力機関 区内地域包括支援センター、南区民生委員代表者 (アドバイザー：新潟医療福祉大学　青木茂教授)</li> </ul> <p>【アンケート調査実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象者：区内民生委員、地域包括支援センター、南区内居宅介護支援事業所等　36団体</li> </ul>

#### ＜実施状況推移＞

区分	R5年度	R4年度	R3年度
相談受付件数	266件	295件	247件

<個別支援事例>

事例概要	介護が必要な高齢者、20年以上のひきこもり状態の子、障がいの疑いがある孫の3人世帯。世帯員各々が課題を抱える世帯の生活支援について、支援者間で情報共有を行い、必要な支援と役割分担を行いました。
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターから「一緒にかかわってほしい世帯がある」と相談があり、民生委員、ひきこもり相談支援センター、地域包括支援センター、行政（高齢介護、地区担当保健師）でカンファレンスを開催し、世帯員それぞれの課題や必要な支援について整理し、支援者間で役割分担を行いました。各機関で支援を行なながら、動きがあった際には随時カンファレンスを開催し、情報共有を行いました。</li> <li>・自宅へ訪問し、生活状況について確認したり、子・孫それぞれから今後の介護や生活についての話を聞いたりしました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者の役割分担ができ、医療機関の受診や介護サービスの利用などにつながりました。</li> <li>・20年以上ひきこもり状態であった子が、支援者とつながることができ、世帯のキーパーソン的役割として、医療機関の受診手続きや介護サービス手続きを行いました。</li> </ul>
今後の課題	世帯状況が刻々と変化し、支援者は担当している対象者だけではなく、世帯員全体の現状について把握していることが求められています。CSWがコーディネーター役となり、引き続き、関係機関と情報共有を行いながら支援していく必要があります。

○南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

南区保健医療福祉のつながりを深める会に参画し、地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、関係機関とのネットワーク構築に勤めました。また、ACPをテーマにした講演会開催に協力しました。

開催日	会 場	内 容
区民公開講座 令和6年2月10日（土）	白根学習館ラス ペックホール及 びオンライン	<p>基調講演・対談 「(A) あなたの (C) 心に (P) ぴたっと 寄り添う人生会議」 講師：公益社団法人仁賀田健臓器移植推進財団 秋山 政人氏</p> <p>家族介護者の立場から： 新潟市副市長 野島 晶子氏 座長 介護老人保健施設みづき苑支援相談員 坂詰 明広氏 参加者 196名 (オンライン 81名・会場 115名)</p>

## (6) 心配ごと相談事業

毎月第2・第4水曜日に心配ごと相談所を開設し、心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。

相談員は、本部主催の相談員研修会並びに区主催の相談員研修会に参加し、事例検討を実施して相談員としての資質向上に努めました。

### [心配ごと相談所相談件数]

区分	R5	R4	R3
開催日数 (回)	24	24	24
相談件数 (件)	7	15	9

### [研修会]

日時・会場	主な内容	参加人数 (人)
令和5年7月5日(水) 市総合福祉会館	「弁護士さんに聞いてみよう！」 講師：あさひ新潟法律事務所 弁護士 山田 聰之 様	9
令和6年2月22日(木) 白根健康福祉センター	「電話での相談対応について」 講師：新潟市心配ごと相談所 小宮 計子	9
令和6年3月6日(水) 市総合福祉会館	「ロールプレイを通して、傾聴の仕方を学ぶ」 講師：新潟県臨床心理士会 会長 藤沢 直子	7

## (7) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等を対象に生活福祉資金貸付について相談支援を行いました。

相談を受けるなかでみえてくる生活課題などもあるため、関係機関等と連携しながら支援していく必要があります。

### [新規貸付件数]

資金名	R5(件)		R4(件)		R3(件)		
	相談	貸付決定	相談	貸付決定	相談	貸付決定	
本則 生活福祉資金	総合支援資金	9	0	6	0	5	0
	福祉資金	24	0	39	1	8	0
	教育支援資金	25	0	19	1	53	4
	不動産担保型 生活資金	0	0	0	0	0	0
	その他	23	0	1	0	0	0
コロナ特例	総合支援資金	0	0	7	360	19	
	緊急小口	0	157	14		57	
合 計		72	0	222	23	426	80

## ○日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し、福祉サービス利用や日常的金銭管理のサービス提供に努めました。

新規契約件数（件）	サービス利用者数（件）	契約終了件数（件）
2 (1)	14 (12)	1 (0)

( ) 内は前年度数値

## (8) 行旅人旅費貸付事業

他区社協と情報共有を行い、紛失や盗難等で現金を携行できない行旅人で他の支援策による救済が困難な相談者に対して支援を行いました。

区分	R5	R4	R3
貸付件数（件）	1	0	0

## (9) 高校進学に向けた相談支援事業

高校進学（義務教育からの卒業）段階で支援を必要とする子どもや世帯の孤立を防ぐことを目的に、表出する地域生活課題とCSWとがつながるきっかけの一つとして、高校進学のための経済的支援の一覧表を作成・配布し、区内中学校に周知を図りました。

## 3. 区社協ボランティア・市民活動事業（市社協基本目標1：孤立を見逃さない地域づくり）

### (1) ボランティア・市民活動センター運営事業

コロナが5類となったことで、これまでまったく活動できなかつた施設等でのボランティア活動が徐々に再開してきました。

## ○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/ 施設	視覚障 がい	聴覚障 がい	その他	災害 関係	計
団体数	6	1	10	2	1	3	31	1	55
所属人数	87	42	164	57	17	69	614	33	1083
個人人数	7	3	1	0	0	0	10	6	27

## ○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事用保険（件）
552	459

### ○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティア したい (件)	ボランティア 欲しい (件)	情報提供 したい (件)	情報欲しい (件)	計 (件)
10	21	7	27	65

### ○ボランティア・市民活動センター運営委員会

コミュニティ協議会や地区社協で障がいの理解を進める体験学習を実施してほしいという要望を受け、大通地区で視覚障がいの当事者講話と歩行誘導体験を実施しました。

区分	R5	R4	R3
運営委員会回数(回)	2	2	2
運営委員数(人)	6	6	6

### ○南区ボランティア・市民活動センターだより

9月発行号は、ひきこもり経験者の方に取材を行い、ひきこもった経緯と回復、ボランティアについてお話を伺ったインタビューを発行しました。2月発行号は、令和5年度の事業について紹介する内容で、昨年度に引き続き社協だよりとの合併号として新聞折込による全戸配布を行いました。18ページに詳細を記載しております。

区分	部数	配布先
9月発行 No.15	1300部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、その他関係先、共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム参加者配布
2月発行 No.16	送付 1,500部 新聞折込 11,300部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先

### ○大雪対応

区分	除雪	生活支援	その他	計	うちボランティア活動人数
相談件数	2	0	0	2	0

## (2) 災害ボランティアセンター運営事業

### ○災害ボランティアセンター検討委員会

検討委員により昨年度実施した設置訓練を踏まえた災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しを中心に、能登半島地震で被災した新潟市西区に設置された西区災害ボランティアセンターでの活動内容の共有や来年度以降の取り組みを話し合いました。また、年度途中に南区赤十字奉仕団の解団により委員数が2名減少となりました。

区分	R5	R4	R3
検討委員会回数(回)	6	5	6
検討委員数(人)	8	8	8

＜実施状況＞

開催日	内容	参加委員数(人)
令和5年4月18日(火)	新規メンバー顔合わせ、今年度の取り組みについて(年間計画の説明)	4
6月13日(火)	令和5年度設置訓練について	7
8月15日(火)	運営マニュアルの改訂について	4
10月17日(火)	運営マニュアルの改訂について	4
12月19日(火)	運営マニュアルの改訂について	4
令和6年2月20日(火)	運営マニュアルの改訂について、西区災害ボランティアセンター活動報告、令和5年度事業振り返り、令和6年度事業内容について	6

### ○災害ボランティアセンター設置訓練

令和5年度の設置訓練では、参加者の対象範囲を広げて地域の方にも講話や演習を行い、災害ボランティアセンターの役割を知ってもらうことで被災後のセンターの円滑な運営や地域連携を図れるように訓練を実施しました。

区分	R5	R4	R3
設置訓練参加者数(人)	34	22	26

＜実施状況＞

開催日	会場	内容・参加団体	参加者数(人)
令和5年11月12日(日)	新潟市アグリパーク	●南区災害ボランティアセンター設置訓練 白根青年会議所、白根ライオンズクラブ、白根ロータリークラブ、白根高校、白根コミ協、庄瀬コミ協、株式会社ダイナム、柏崎市社協、南区役所地域総務課、健康福祉課、にいがた災害ボランティアネットワーク、南区社協(計12団体参加)	34

## ○地域防災（防災学習）

実施してから4年目を迎えた地域防災出前講座は、近年頻発する自然災害による防災に対する意識の高まりもあり地域コミュニティ協議会や自主防災会等5団体からお声がけいただき、災害ボランティアセンターの役割や災害発生時の対応、日ごろの備えなどの防災学習を開催しました。

区分	R5	R4	R3
防災学習参加者（人）	236	109	310

### ＜実施状況＞

開催日	会場	内容・参加団体	参加者数（人）
令和5年4月20日（木）	臼井地域生活センター	臼井地区自主防災会	12
5月27日（土）	新潟市アグリパーク	大郷コミュニティ協議会 鷺巣コミュニティ協議会	41
7月2日（日）	新飯田地域生活センター	新飯田コミュニティ協議会	34
8月3日（木）	サルナート吉運堂	白根ロータリークラブ	17
令和6年2月27日（火）	白根学習館	地域住民	132

## （3）ボランティア・市民活動育成事業

### ○ボランティア講座・交流会

ボランティア活動者の高齢化に伴い、現在の活動を健康に継続できるよう、また地域の高齢者の介護予防の取組みを支援するボランティアの育成を目指し、体しゃつきり体操を地域で普及するボランティア結成講座を行いました。

ボランティア等交流会では、令和5年の健康テーマを「食」とし、健康講話やかんたんレンチン料理、ボランティアによる手作り特製健康弁当で構成しました。

区分	R5	R4	R3
ボラ講座参加者数（人）	98	74	44
新規ボラ団体設立（団体）	0	0	0
交流会参加者数（人）	95	96	64
施設研修会参加数（人）	0	0	107

### ＜実施状況＞

開催日	事業名	参加者数（延べ人数）
令和5年11月22日（水）	ボランティアきっかけ作り講座「南区しゃつきり隊結成講座 Vol. 1」	24

開催日	事業名	参加者数 (延べ人数)
令和6年2月13日(火)	ボランティアきっかけ作り講座「南区しゃつきり隊結成講座 Vol.2」	36
令和5年9月27日(水)	南区ボランティア・サロン・元気力アップセンター交流会（再掲、7ページ参照）	52
令和5年12月25日(月)	中学生ボランティア交流会	43

#### (4) 福祉教育推進事業

令和4年度に比べ、福祉教育を実施した学校数は12校から9校に減少したものの、1校当たりの授業数が増加傾向で、延べ参加人数は1197名から1225名に増加しました。これまでコロナ禍で自粛されていた高齢者施設への訪問が再開し、大通地区の地域の茶の間のメンバーが講師役となって子どもたちにボッチャを教える、ボッチャ体験が新しく福祉教育のメニューに加わりました。

また、地域の課題を学んで自分事として考える講座を、地域の方々への福祉教育と位置づけ、ひきこもりの理解をテーマに講座を開催しました。

##### ○依頼を受けての福祉教育

区分	R5	R4	R3
福祉教育実施学校（校）	9	12	10
大人の福祉教育実施（回）	7	5	5

##### <実施状況>

対象	内容	項目・日	参加者数(延べ)
新飯田小学校4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、視覚障がい）</li> <li>・当事者の福祉講話（視覚）</li> <li>・音声訳体験</li> <li>・当事者の福祉講話（聴覚）</li> <li>・当事者から手話を学ぶ</li> </ul>	5項目 5日	40人
茨曽根小学校4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、高齢者）</li> <li>・福祉講話と寸劇（認知症）</li> <li>・当事者の福祉講話（聴覚）</li> <li>・当事者から手話を学ぶ</li> </ul>	4項目 3日	52人
小林小学校4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、視覚がい）</li> <li>・当事者の福祉講話（視覚）</li> <li>・音声訳体験</li> <li>・ボッチャ体験</li> <li>・福祉講話と寸劇（認知症）</li> <li>・当事者の福祉講話（高齢者）</li> <li>・施設訪問（老人デイサービスセンター）</li> </ul>	7項目 7日	224人
臼井小学校4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、視覚障がい）</li> <li>・当事者の福祉講話（視覚）</li> <li>・当事者と歩行誘導体験（視覚）</li> </ul>	5項目 4日	125人

対象	内容	項目・日	参加者数(延べ)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声訳体験</li> <li>・福祉講話（高齢者）</li> <li>・高齢者体験</li> </ul>		
大鷲小学校 4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話 (福祉、視覚障がい、聴覚障がい)</li> <li>・視覚障がい体験</li> <li>・聴覚障がい体験</li> <li>・当事者の福祉講話（視覚）</li> <li>・音声訳体験</li> <li>・当事者の福祉講話（聴覚）</li> <li>・当事者から手話を学ぶ</li> </ul>	7項目 4日	70人
根岸小学校 4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、視覚障がい）</li> <li>・当事者と歩行誘導体験（視覚）</li> <li>・福祉講話（高齢者）</li> <li>・高齢者体験</li> </ul>	4項目 4日	96人
大通小学校 3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、視覚障がい）</li> <li>・当事者と歩行誘導体験（視覚）</li> <li>・ユニバーサルデザインを学ぶ</li> </ul>	3項目 2日	237人
月潟中学校 3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、視覚障がい）</li> </ul>	1項目 1日	36人
白南中学校 2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題を捉え解決策を考える</li> </ul>	5項目 5日	155人
地域教育コーディネーター研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャ体験</li> </ul>	1項目 1日	25人
大通コミュニティ協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、視覚障がい）</li> <li>・当事者の福祉講話（聴覚）</li> <li>・当事者と歩行誘導体験（視覚）</li> </ul>	3項目 1日	81人
新潟市南消防署	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講話（福祉、高齢者）</li> <li>・車いす体験</li> <li>・高齢者体験</li> </ul>	3項目 1日	84人

## ○福祉教育講座の開催

### ＜実施状況＞

開催日	事業名	参加者数（延べ人数）
令和5年8月8日(火)	<p>福祉教育講座「いま、ひきこもりについて考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> </ul> <p>長岡崇徳大学看護学部教授 斎藤まさ子氏 新潟市ひきこもり相談支援センター事業責任者 斎藤 勇太氏</p>	38

#### 4. 区社協広報・啓発活動事業（市社協基本目標3：信頼され、安定した法人経営）

##### （1）共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム・第15回南区社会福祉大会

孤立・孤独が社会の中で問題となり、さらに地域では少子高齢化が進み、地域福祉活動の担い手不足も課題となっている中で、「地域共生社会」「支え合いのしくみのある地域」の実現に向けて取組む先進地の事例を聴き、南区内の先進的な活動の報告から区民の地域福祉活動への意識を醸成するため、「共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム・第15回南区社会福祉大会」を開催しました。

視聴期間	主な内容
令和5年12月10日(日) 白根学習館 ラスペックホール 参加数172人	<p>【第1部】 表彰式 南区社会福祉協議会表彰 個人7名 団体2団体 基調講演 「一人の不幸も見逃さない！ ～藤里方式でつくる町民みんなが活躍できるまちづくり～」 講師：秋田県藤里町社会福祉協議会会長 菊地まゆみ氏</p> <p>【第2部】 パネルディスカッション 「みんながいきいき活躍できる地域づくりを考える」 コーディネーター 新潟医療福祉大学社会福祉学部准教授 渡邊 豊氏 パネラー 庄瀬地域コミュニティ協議会 西山 ゆき氏 コミュニティ茨曽根 上杉小貴子氏 南区社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー 佐藤 元美 ボランティアコーディネーター 漆原扶美子</p>

##### （2）広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第53号	令和5年7月2日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所づくりの取り組み紹介</li> <li>・R5 社協会費納入のお願い、5年度事業計画・予算、R4年度事業報告・決算報告</li> <li>・R4年度共同募金実績報告</li> <li>・R5ボランティアグループ一覧、オリジナルDVDの紹介、元気力アップサポーター案内</li> <li>・会長挨拶、地域の茶の間・サロン案内、ひとり親世帯支援寄付募集案内、緊急情報キット案内、心配ごと相談所案内 他</li> </ul>

区社協だよりみなみ 第54号	令和5年9月24日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協活動紹介</li> <li>・赤い羽根共同募金運動協力のお願い、共同募金公募型助成案内、生活支援事業実施報告、</li> <li>・賛助会員企業、福祉教育講座サポート研修案内、障がい者基幹相談支援センター案内、心配ごと相談所案内、フォーラム開催案内</li> <li>・地域の茶の間・サロン・子育サロンMAP、こども食堂紹介 他</li> </ul>
区社協だよりみなみ 第55号 ※区ボランティア・市民活動センターだよりとの合併号	令和6年2月25日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラム開催報告、R5 表彰報告</li> <li>・R6 能登半島地震活動報告、R5 赤い羽根共同募金運動実績報告</li> <li>・賛助会員企業、生活支援事業実施報告 他</li> </ul>
区ボランティア・市民活動センターだより No.15	令和5年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアインタビュー南区特集（佐藤拓実・ひきこもり経験者、ひきこもり支援機関、新潟市各区社協の支援事業）</li> <li>・ボランティア団体の活動紹介</li> </ul>
区ボランティア・市民活動センターだより No.16 ※社協だよりとの合併号	令和6年2月25日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・サロン・元気力アップサポート交流会と体しゃっきり体操</li> <li>・南区の生活支援サービス（大通地区、小林地区）</li> <li>・小・中学校の福祉教育、ボランティア活動の紹介（新潟よつば学園、新潟ダルク収穫祭・地域の交流会、茶の間の災害ボラセン炊き出し、白根小学校読み聞かせ）</li> </ul>

## 5. 区社協運営事業（市社協基本目標3：信頼され、安定した法人経営）

### （1）理事会の開催状況

区分	開催日・会場	協議題
第1回理事会	令和5年4月7日（金） 南区社会福祉協議会 会議室	(1)南区社会福祉協議会会长・副会長選任について (2)南区社会福祉協議会 監事の選任について
第2回理事会	令和5年5月26日（金） 南区社会福祉協議会 会議室	(1)令和4年度南区社会福祉協議会事業報告について (2)令和4年度南区社会福祉協議会収支決算について

第3回理事会	令和5年9月26日(火) 南区社会福祉協議会 会議室	(1)令和5年度南区社会福祉協議会会長表彰被表彰者の選考について (2)令和5年度共に生き支え合う南区地域づくりフォーラムについて
第4回理事会	令和6年3月19日(火) 南区社会福祉協議会 会議室	(1)令和6年度南区社会福祉協議会事業計画(案)について (2)令和6年度南区社会福祉協議会収支予算(案)について

## (2) 監事会の開催

区分	開催日・会場	監査事項
監事会	令和5年5月17日(水) 南区社会福祉協議会	・令和4年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・令和4年度南区社会福祉協議会収支決算について

## (3)会員会費の納入状況(目標額:1世帯500円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額(円)
新飯田	483	472	97.7%	236,000
茨曽根	410	410	100.0%	205,000
庄瀬	629	623	99.0%	311,500
小林	1,124	816	72.6%	408,000
臼井	961	821	85.4%	410,500
大郷	453	412	90.9%	206,000
鷺巣	513	513	100.0%	256,500
根岸	1,162	1,005	86.5%	502,500
大通	2,446	1,958	80.0%	979,000
白根	3,762	2,862	76.1%	1,431,000
味方	1,277	998	76.1%	498,800
月潟	1,144	1,029	89.9%	514,500
合計	14,364 (14,323)	11,919 (11,728)	83.0% (81.9%)	5,959,300 (5,863,200)

※( )内は前年度数値

## (4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個人	91人	72,500円	(97人 77,000円)
法人	27社	195,000円	(22社 135,000円)

## (5) 役職員研修事業

役職員の資質向上を図るため、県民福祉大会や各種研修会へ積極的に参加しました。

研修名	参加人数
県民福祉大会	12名（被表彰者2名含む）
関川村防災フォーラム	2名
福祉教育推進員研修	1名

## 6. 市受託事業の推進

### (1) 元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により交付金として還元しました。

区分	説明会		サポーター登録者数 (人)	登録施設数（施設）
	開催数（回）	参加者数（人）		
令和5年度	1	1	(新規) 1	0
合計 ※1.2は累計	236 ※1	191 ※2	138	48

### ○元気力応援事業

コロナが第5類に移行したことを機に、ボランティアの受入れを再開し始めた高齢者施設があるものの、依然としてコロナ禍前の活動には戻っていません。積極的な登録呼びかけや活動案内を行うことができなかった代わりに、南区社協を会場に清拭切りや食料相談支援事業のサポート等の活動を元気力応援事業として行いました。

区分	R5	R4	R3
元気力応援事業（人）	75	76	42

### ＜実施状況＞

開催日	全参加者数	サポーター参加者数
令和5年4月3日(木)	5	5
令和5年5月11日(木)	6	6
令和5年6月8日(木)	6	6
令和5年6月14日(水)	1	1
令和5年6月23日(金)	1	1
令和5年6月26日(月)	1	1

開催日	全参加者数	サポーター参加者数
令和5年6月27日(火)	1	1
令和5年6月28日(水)	1	1
令和5年6月29日(木)	1	1
令和5年7月13日(木)	5	5
令和5年8月10日(木)	5	5
令和5年9月14日(木)	6	6
令和5年10月12日(木)	7	7
令和5年11月9日(木)	4	4
令和5年12月7日(木)	4	4
令和5年12月14日(月)	5	5
令和6年1月11日(木)	4	4
令和6年2月8日(木)	6	6
令和6年3月14日(木)	6	6

## 7. 共同募金事業の推進

[令和5年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区分	令和5年度 目標額	令和5年度 実績額	達成率	令和4年度 実績額	対前年比較
共同募金	6,685,000円	6,038,959円	90.4%	6,092,360円	△53,401円
歳末募金	2,876,000円	3,050,035円	106.1%	3,128,200円	△78,165円
合計	9,561,000円	9,088,994円	95.1%	9,220,560円	△131,566円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	4,948,808円	81.0%
法人募金	759,560円	12.4%
学校募金	176,357円	2.9%
街頭募金	35,881円	0.6%
職域募金	103,171円	1.7%
イベント募金	1,419円	0.0%
その他募金	87,828円	1.4%
合計	6,113,024円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,979,380円	97.7%
職域募金	70,654円	2.3%
その他募金	1円	0.0%
合計	3,050,035円	100.0%